



やさしく
かしこく
たくましく

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成



豊かで 確かな「学び」のための工夫



本校では、子ども達の豊かで確かな「学び」のために、授業以外の様々な部分でも工夫をしています。「算数コーナー」もその一つで、例えば、学習で出てくる「重さ」「長さ」「面積」「体積」などの単位については、「知識」としてだけでなく、その「重さ」や「長さ」「広さ」「かさ」といったことを実感できるような展示を行って、実感を伴い、生きた学びとして生活の中でも活用できる学びとなるように工夫しています。(この夏、子ども達がない夏休みの期間を利用して、職員で新たに整備し直しました。暑い中頑張りました。)

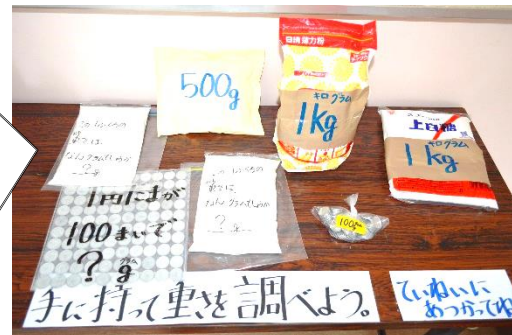


算数コーナー

1デシリットルや1リットル、1ミリリットル等は、どのくらいの「体積」・「かさ」なのかということが、目で見たり、手で触ったりして実感できるようにしてあります。



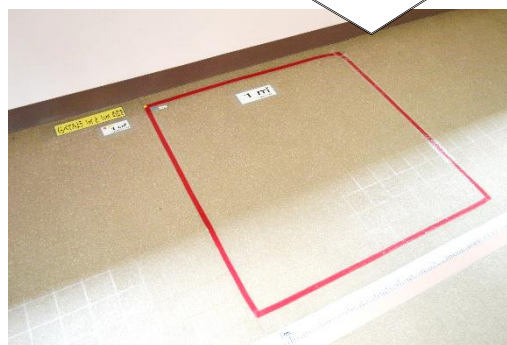
「重さ」も、500gや1kgはどのくらいの重さなのか、何がどれくらいの重さなのか、こちら目で見たり、手で持ったりして実感できるようにしてあります。ちなみに1円玉は1枚で1gです。リオオリンピックの金メダルは500gだそうですね。



廊下の床には、1平方メートルはどれくらいの広さかが示してあり(赤テープの四角)、隣に示してある1平方センチメートルと比較できるようにしてあります。手前に見える白いテープの線は長さを示しています。ここを通るとき、自然と長さや広さを実感できます。



保健室前には「心」の学習に関する掲示物が・・・心と姿勢の関係について、子ども自身が自分で考え、実践できるようなメッセージとなっています。



ご紹介したのはほんの一部ですが、職員一人一人が自分の役割や思いから、そしてまたチームとして協力し合って、子ども達の「学びの環境」を作っています。子ども達も、実感・体感しながら楽しく学んでいます。

